

EXPO 2027 YOKOHAMA JAPAN

# AIPH規則等（サステナビリティ関係） の要求事項と対応の方向性について

公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会

- 博覧会協会は、2021年10月にAIPH（国際園芸家協会）が公表した規則等に基づき、**サステナビリティ戦略等を策定する必要**があります。
- 「持続可能性有識者委員会」では、**持続可能性の取組と魅力の向上のため、サステナビリティ関係業務について、専門的視点からご意見及びご提案をいただきたい**と考えております。
- 2023年度の委員会では、**サステナビリティ戦略・実施計画、調達コード**について、ご審議いただきたいと考えております。
- 本資料では、**AIPH規則等（サステナビリティ関係）の要求事項と対応の方向性**について、ご説明いたします。



# AIPH規則等の体系



# サステナビリティ関係計画等とAIPH提出時期等

		2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	-2030年度
【計画】	①サステナビリティ戦略（レガシー計画含む）		● 2024年3月 提出期限 開会3年前				
	②サステナビリティ実施計画						
	③サステナビリティ教育計画 ④サステナビリティコミュニケーション・ エンゲージメント計画		● 2025年3月 提出期限 開会2年前		● 2026年9月 最終版提出期限 開会6か月前		
【運用】	ISO20121に準拠した イベント・サステナビリティマネジメントシステム				● 2026年9月 審査機関に 申請・承認		
【報告】	①プレイベント・サステナビリティレポート （建設工事と準備段階に焦点をあてた報告書）				● 2026年9月 報告期限 開会6か月前		
	②ポストイベント・サステナビリティレポート （博覧会最終報告書及び評価アンケート1の一部となる報告書）					● 2027年12月 報告期限 閉会3か月 以内	
	③サステナビリティ及びレガシーレポート （博覧会評価アンケート2の一部となる報告書）						● 2030年9月 報告期限 閉会3年以内

AIPHの  
審査承認  
が必要

AIPHに  
報告が  
必要

国際園芸博覧会の開催（2027年3月～9月）

# AIPH規則等における要求事項の概要①

分類	要求事項	要求事項の概要
計画	①サステナビリティ戦略の策定 (レガシー計画を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境、労働、人権、腐敗防止、ダイバーシティ、アクセシビリティ、倫理的な行動、に関する方針の説明</li> <li>AIPHが達成を目指す、気候変動対策、生物多様性の保全、持続可能な調達と資源管理、公平性と包括性、サステナビリティ教育と意識向上、に関する目標とKPI（重要業績評価指標）の説明</li> <li>ガバナンス、花き・園芸産業のイノベーション、教育・コミュニケーション、博覧会の成果と課題の報告の説明</li> <li>レガシー実現のためのビジョンや優先事項、目標、担当機関、期間等の説明</li> </ul>
	②サステナビリティ実施計画の策定	<ul style="list-style-type: none"> <li>サステナビリティ戦略を実現するためのアクション、リソース、課題とリスク、実施状況の進捗管理、評価と報告に関する体制の説明</li> <li>建築、イベント運営、解体工事とレガシーへの移行といった、各段階における実施項目の説明</li> </ul>
	③サステナビリティ教育計画の策定	<ul style="list-style-type: none"> <li>来場者のサステナビリティに関する学びと意識向上を実現するためのイベント体験に関する説明</li> <li>目標、ターゲットとなる来場者、方法、リソース、タイムラインの説明</li> </ul>
	④サステナビリティコミュニケーション・エンゲージメント計画の策定	

# AIPH規則等における要求事項の概要②

分類	要求事項	要求事項の概要
運用	ISO20121※1に準拠したイベント・サステナビリティマネジメントシステムの構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>持続可能な博覧会を実現するためのマネジメントシステムの構築</li> <li>国際標準規格であるISO20121の認証取得（推奨）</li> </ul>
報告	①プレイイベント・サステナビリティレポートの策定	<ul style="list-style-type: none"> <li>建設工事と準備段階に焦点をあてた報告書</li> </ul>
	②ポストイベント・サステナビリティレポートの策定	<ul style="list-style-type: none"> <li>博覧会最終報告書及び評価アンケート1の一部となる報告書（気候変動対策、生物多様性の保全、持続可能な調達と資源管理、公平性とインクルージョン、サステナビリティ教育と意識向上等）</li> </ul>
	③サステナビリティ及びレガシーレポートの策定	<ul style="list-style-type: none"> <li>博覧会評価アンケート2の一部となる報告書（気候変動対策、生物多様性の保全等）</li> </ul>

※1：イベントの持続可能性に関するマネジメントシステム（Event Sustainability Management Systems：ESMS）の国際規格

# サステナビリティ戦略のAIPH要求事項①

大項目	中項目	要求事項の概要
エグゼクティブ サマリー	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>サステナビリティ戦略の概要の説明</li> </ul>
はじめに	サステナビリティの意義	<ul style="list-style-type: none"> <li>サステナビリティ戦略を策定する必要性と目的の説明</li> </ul>
	ビジョン&ミッション	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビジョン：博覧会の開催がどのように生物多様性の保全や、花き園芸の活用による気候変動の解決に貢献するかの展望の説明</li> <li>ミッション：博覧会の開催がどのように産業全体の持続可能性の推進や、花き園芸による気候変動の解決、社会全体の緑や持続可能なライフスタイルの推進に貢献するかの説明</li> </ul>
	価値観	<ul style="list-style-type: none"> <li>博覧会が実現を目指す価値観の説明</li> </ul>
状況分析	規範的・制度的枠組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>博覧会が準拠する法的枠組みや条約等の説明</li> </ul>
	国際規格	<ul style="list-style-type: none"> <li>博覧会の開催により貢献が期待される国連持続可能な開発目標（SDGs）の目標とターゲットの説明</li> <li>SDGsの達成に貢献する施策の説明</li> </ul>
	背景情報・環境分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>PESTEL分析等による外部環境の説明</li> </ul>

# サステナビリティ戦略のAIPH要求事項②

大項目	中項目	要求事項の概要
基本方針	人権	<ul style="list-style-type: none"> <li>人権尊重に関する基本方針の説明</li> </ul>
	労働	<ul style="list-style-type: none"> <li>労働者の保護に関する基本方針の説明</li> </ul>
	腐敗防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>腐敗防止に関する基本方針の説明</li> </ul>
	ダイバーシティ&インクルージョン	<ul style="list-style-type: none"> <li>ダイバーシティ&amp;インクルージョンに関する基本方針の説明</li> </ul>
	アクセシビリティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>会場のアクセシビリティに関する基本方針の説明</li> </ul>
	環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境に関する基本方針の説明</li> </ul>
目的と目標	目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>AIPHが達成を目指す、気候変動対策、生物多様性の保全、持続可能な調達と資源管理、公平性と包括性、サステナビリティ教育と意識向上、に関する目標とKPI（重要業績評価指標）の説明</li> </ul>
	目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物多様性、水環境、脱炭素、エネルギー、公害対策、廃棄物と解体、建設、デザイン・計画、交通・会場内移動、海外からの参加者、持続可能なイベント運営、レガシー、に関する目標とKPIの説明</li> </ul>
まとめ	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>戦略策定後のステップやサステナビリティ実施計画の策定に関する説明</li> </ul>
付録	基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本方針に関する追加の説明</li> </ul>
	ガイドライン	<ul style="list-style-type: none"> <li>ガイドラインに関する説明</li> </ul>



# サステナビリティ実施計画のAIPH要求事項

大項目	中項目	要求事項の概要
はじめに	目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施計画の策定の目的、対象期間、責任者の説明</li> </ul>
	前提条件と制約条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>リソース、資金、納期、スケジュール、手段等の博覧会開催における前提条件の説明</li> <li>影響範囲、スケジュール、資金等の博覧会開催における制約条件の説明</li> </ul>
	リスクアセスメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>サステナビリティ戦略の達成を阻害するリスクの発生の可能性、影響度合い、発生の防止策と対応方針、責任者の説明</li> </ul>
ガバナンスとステークホルダーのマネジメント	経営の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>サステナビリティ戦略の実施担当部署の説明</li> </ul>
	ステークホルダー分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>サステナビリティ戦略の実施にあたり、関与すべき内部・外部のステークホルダーと立ち位置の説明</li> </ul>
実施スケジュール	アクション	<ul style="list-style-type: none"> <li>サステナビリティ戦略で設定した目標の実現のために実施が必要なアクションの説明</li> </ul>
	マイルストーンと成果物	<ul style="list-style-type: none"> <li>博覧会のマイルストーンと成果物の品質基準、達成期限、責任者の説明</li> </ul>
	RACIマトリクス	<ul style="list-style-type: none"> <li>アクションの実行責任者、説明責任者、相談先、報告先に関する説明</li> </ul>
	ガントチャート	<ul style="list-style-type: none"> <li>アクション実施におけるタイムラインの説明</li> </ul>
予算	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>博覧会のサステナビリティに関する目標やアクションの実現のために確保している予算の説明</li> </ul>
モニタリングと評価	パフォーマンス ・モニタリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>サステナビリティ戦略で設定したKPIの基準値、中間目標、最終目標、モニタリングの方法と頻度、責任者の説明</li> </ul>

# 今後の主なスケジュール（予定）

時期（予定）	スケジュールの概要
<b>10月23日（月）</b>	<b>第1回 持続可能性有識者委員会</b>
秋頃	博覧会協会の理事会に検討状況を報告
秋～冬頃	委員会のご意見等を踏まえ、戦略・実施計画・調達コードの案を関係者と協議
<b>12月19日（火）</b>	<b>第2回 持続可能性有識者委員会</b>
冬頃	委員会のご意見等を踏まえ、戦略・実施計画・調達コードの日本語を修正後、英訳（約2か月）し、関係者と協議
<b>2024年1月頃</b>	<b><u>各種調達契約や出展者の募集等に向けて、調達コード（日本語）を前倒して策定予定</u></b>
<b>2024年3月19日まで（開会3年前まで）</b>	<b><u>AIPHにサステナビリティ戦略・実施計画を提出・公表（日本語・英語）調達コード（英語）を策定予定</u></b>
2024年春頃	博覧会協会の理事会に報告
提出後、2か月程度～	AIPHから戦略・実施計画の審査結果のフィードバック後、AIPHと修正内容等を協議
提出後、約半年程度	サステナビリティ戦略・実施計画のAIPH承認・確定